

(2007年10月)

目 次

〈 繊維情報 〉

- ・2007年8月の繊維品輸出概況(繊維品全体・原料・織編物・主要二次製品)..... 1
- ・2007年7月の繊維品輸入概況(繊維製品計・糸類・織物類・衣類)..... 12
- ・アジア 中 国 2007年1-8月の繊維品貿易概況..... 14
- ・欧 州 E U 2007年(1-6月)の繊維品域外貿易概況..... 18
- ・米 州 米 国 2007年8月の繊維品輸入、中国とベトナムの伸びが依然好調..... 20

〈 組合関係の会議と催事 〉

- ・(2007年9月)..... 23

〈 お知らせ 〉

- ・繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と「保険期間延長手続き」について(輸出)..... 25
- ・「イラン」向け引受方針変更について(輸出)..... 26
- ・11月の輸入通関手続相談窓口開設日(輸入)..... 27



◎ 2007年8月の繊維品輸出概況

I. 繊維品輸出概況

—前年同月比2%増の6億9,685万ドルと前月に続き微増—

2007年8月の繊維品輸出は、ドルベースで、前年同月比2%増（前年1—8月比:3%増）の6億9,685万ドルと前月に続き微増推移となった。

なお、為替が2006年8月の115.88円に対し、2007年8月は116.72円と昨年同月に比べ約1%の円安となっていることから、円ベースでは3%増（同7%増）の813億3,600万円と今年に入って増勢が続いている。

<主要地域・国別輸出>

8月の輸出を主要地域別に見ると、全輸出の73%を占め、わが国の輸出動向を左右する最大市場の東アジア向けは横ばい推移となった。一方、西アジア、欧米の純輸出市場は、為替のフォローの風もあり、今年に入って引き続き好調を持続しており、北米は微増に止まったが、西アジア、欧州は各々2桁の増加となり、東アジアの停滞をカバーした。

東アジアの主要国向けでは、韓国、香港、ベトナム、タイ、シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシアが揃って増勢推移となったが、最大市場の中国、また、台湾が減少し、前年同月比横ばい（同横ばい）の5億471万ドルとなった。

中国は、3ヶ月連続で減少しており、先行きの輸出にとって、最大の不安材料となっている。

シェア5%の西アジアは、サウジアラビアが減少したが、アラブ首長国が大幅に伸び、全体として13%増（同18%増）の3,716万ドルとなった。

欧米市場は、シェア9%のEUは、糸類、織物類、アパレルが好調に推移し、13%増（同19%増）の6,783万ドルと2桁の増加となった。一方、シェア8%の米国は、綿類、不織布が好調に推移したが、織物類、糸類が不調で横ばい（同9%増）の5,662万ドルに止まった。

<主要品目別輸出>

これを主要商品別にみると、まず綿類の輸出は、全体として、数量で12%減（同2%増）、金額で1%減（同14%増）と特に数量は2桁の減少となった。

太宗の合繊綿は、数量で20%減（同2%減）、金額で10%減（同11%増）と数量、金額共に大きく減少した。

減少の大きな要因は、主力のアクリル綿の不振で、EUは健闘したが、最大輸出国の中国を始め、イラン、インドネシア、米国が減少し、数量で27%減（同3%減）、金額で13%減（同11%増）と大きく後退した。

一方、ポリエステル綿は、欧米は後退したが、タイ、マレーシア、中国、インドネシアが健闘し、数量で6%増（同4%減）、金額で13%増（同8%増）と好調な推移となった。

その他の合繊綿では、ビニロン綿は、東アジアは好調に推移したが、主力のEUが大幅に減少し、数量で6%減（同18%増）となった。但し、金額では、単価のアップにより4%増（同17%増）となった。

スフ綿は、81%を占めるトウがベトナム、フィリピン、南アフリカを中心に、また、詰め綿用中心のビスコース綿が米国を中心に共に好調に推移し、数量で27%増（同21%増）、金額で32%増（同23%増）となった。

糸類の輸出は、数量で2%増（同3%減）、金額で6%増（同3%増）と数量、金額共に堅調な推移となった。

主力の合繊長繊維糸は、数量で7%増（同2%減）、金額で10%増（同5%増）となった。

その内訳は、ポリエステル長繊維糸は、主力の中国、米国、EUが減少したが、台湾、香港、タイ、トルコが大幅に増加し、数量で1%増（同9%減）、金額で1%増（同5%減）となった。一方、ナイロン長繊維糸は、フィリピンが減少したが、タイ、中国、EUが大幅に伸び、数量で23%増（同2%増）、金額で20%増（同6%増）と好調に推移した。

その他の合繊長繊維糸では、アクリル長繊維糸は、EUが健闘したが、主力の米国、東アジアが共に減少し、数量で16%減（同25%減）となった。金額は、単価の上昇により、横ばいに（同7%減）に止まった。

また、人絹糸はEUが健闘したが、最大国の韓国が減少、中国が横ばいに止まり、数量で4%減（同1%減）となった。但し、金額は単価がアップし、5%増（同8%増）となった。

太宗の**織物類**の輸出は、数量で7%減（同4%減）、金額で1%増（同2%減）と数量減の金額微増となった。

織物の内訳では、中心品目の**ポリエステル長繊維織物**は、数量で11%減（同7%減）、金額で5%減（同2%減）と、数量、金額共に減少推移となった。

地域的には、全体の73%を占める東アジア向けは、台湾、ベトナム、タイ、シンガポール、スリランカが健闘したが、最大市場の中国を始め、香港、韓国、フィリピン、インドネシアが不振推移となり、東アジア全体としては7%減（同6%減）となった。

また、純輸出市場向けは、西アジアは、アラブ首長国は増加したが、サウジアラビアが不振で、西アジア全体として11%減（同13%減）となった。

一方、欧米市場向けは、米国が39%減（同12%減）、EUも24%減（同8%減）と共に大きく後退した。

ナイロン織物は、数量で3%減（同3%減）、金額で7%増（同3%増）と、数量減の金額増となった。

シェア84%の東アジア向けは、最大市場の中国、ベトナムが好調に推移したが、香港、韓国が大幅に減少し、全体として4%減（同6%減）となった。一方、欧米市場は、シェア6%の米国が12%減（同2%増）と減少推移となったが、同じくシェア6%のEUは2%増（同85%増）と、このところ増加が続いている。

綿織物は、数量で9%減（同9%減）、金額で3%減（同8%減）と数量、金額共にこのところ後退推移が続いている。

81%のシェアを占める東アジア向けは、ベトナム、韓国が好調に推移したが、最大市場の中国、香港、タイ、台湾が減少推移となり、東アジア全体として11%減（同11%減）となった。一方、欧米市場は、シェア12%の米国が12%減（同3%増）と後退したが、シェア2%のEUは8%増（同横ばい）と好調に推移した。

ポリエステル短繊維織物は、数量で18%増（同2%増）、金額で17%増（同3%増）と好調な推移となった。

全体の56%を占める東アジア向けは、最大市場の中国、香港、ベトナムが増加し、東アジア全体として17%増（同5%減）となった。一方、シェア43%の民族衣装用の西アジアは、日本品への信頼が厚く、アラブ首長国、サウジアラビア、クエートが揃って好調に推移し、西アジア全体として16%増（同13%増）と引き続き好調な推移となった。

人絹織物は、数量で15%増（同7%増）、金額で1%減（同横ばい）と数量増の金額減となった。

シェア73%の東アジアは、最大市場の香港、中国、韓国、タイが健闘し、東アジア全体として19%増（同7%増）となった。また、シェア14%の西アジアは、アラブ首長国は増加したが、サウジアラビアが大幅な減少となり、全体として8%減（同7%増）となった。一方、欧米市場は揃って好調で、米国は160%増（同17%増）、EUも11%増（同5%増）となった。

毛織物は、数量で5%減（同4%減）、金額で3%減（同6%減）と、数量、金額共に不振推移となった。

地域的には、東アジアが96%とほぼ全量を占めている。韓国、台湾が健闘し、ベトナムは横ばい推移となったが、最大市場の中国、香港が減少し、東アジア全体として7%減（同4%減）となった。

不織布の輸出は、数量で24%増（同20%増）、金額で12%増（同12%増）と数量、金額共に好調な推移が続いている。

全体の56%を占める東アジアは、タイが減少したが、最大市場の中国を始め、香港、韓国、ベトナムが大幅に増加し、全体として24%増（同26%増）となった。

一方、欧米市場は共に好調で、シェア34%の米国は24%増（同12%増）、シェア6%のEUは32%増（同25%増）と大幅増加となった。

コーテッド織物の輸出は、数量で5%増（同13%増）、金額で4%増（同12%増）と数量、金額共に堅調に推移した。

全体の82%を占める東アジアは、タイが減少したが、中国、香港、ベトナムが伸び、全体として4%増（同12%増）となった。

一方、欧米市場は、シェア6%の米国は27%増（同48%増）と好調を維持、一方、シェア5%のEUは23%減（同2%増）と低調な推移となった。

ニット生地の輸出は、数量で9%増（同3%増）、金額で横ばい（同3%増）と数量増の金額横ばいとなった。

全体の約9割強を占める東アジア向けは、主要国では、最大市場の中国、香港、ベトナムが好調に推移、一方、韓国、台湾、タイ、インドネシアは不振推移となった。

また、欧米市場向けは、米国は後退したが、EUは前月に続き大幅な増加となった。

アパレルの輸出は、金額で5%増（同3%増）と3ヶ月振りに増加に転じた。

内容的には、布帛製衣類では、外衣類は、台湾、中国が減少し、最大国の米国は横ばいとなったが、香港、韓国、EUが増加推移となり、金額で7%増（同7%増）となった。一方、下着類は、最大国の台湾を始め、香港、米国、EUが減少し、中国、マレーシアは増加したが、金額で6%減（同4%増）となった。

ニット製衣類では、外衣類は、香港が大幅に増加し、台湾、韓国、中国は減少したが、金額で4%増（同2%増）となった。一方、下着類は、台湾が減少したが、香港、韓国、中国が増加し、金額で17%増（同2%増）となった。

その他二次製品は、敷物類、細幅織物・紐類等が健闘し、漁網類は不振推移となったが、金額で1%増（同1%増）の微増となった。

織維品輸出実績（2007年8月）

	単位	2007年8月						2007年1月～8月						2006年実績					
		数量		金額		前年同月比		数量		金額		前年同期比		数量		金額			
		ドル	トン	百万円	千ドル	数量	ドル	数量	ドル	百万円	千ドル	数量	ドル	数量	百万円	千ドル			
織維品総合計																			
原料(綿)合計	ドル	32,142		81,336	696,847	102	231,104	5,467,372	107	103	406,322	118	114	1,022,832	8,102,550				
スフ綿	トン	6,328		10,867	93,107	88	48,646	771,538	102	114	62,898	128	123	222,022	25,833				
合繊綿		23,226		2,783	23,848	127	212,298	176,493	98	111	313,244	115	111	781,236	90,882				
(ポリエステル)		4,558		7,847	67,225	80	30,439	581,078	96	112	46,753	108	108	8,787	75,520				
(アクリル)		16,088		955	8,186	106	160,310	53,635	96	111	238,023	97	114	65,808	565,715				
糸 合計	トン	11,770		9,644	82,624	102	86,391	49,972	107	103	132,706	107	103	103,131	886,798				
人絹糸		1,036		946	8,105	96	7,910	62,377	99	112	12,210	108	108	10,436	89,752				
スフ糸		40		49	416	616	226	2,905	104	131	301	126	301	405	3,486				
合繊長糸		10,094		7,730	66,224	107	71,652	473,949	98	108	109,458	105	105	80,070	688,416				
(ナイロン)		2,595		2,001	17,146	123	16,466	111,126	102	110	23,766	106	106	18,058	155,289				
(ポリエステル)		3,189		1,535	13,149	101	23,741	99,765	91	98	38,017	95	95	18,443	158,578				
合繊短糸		238		278	2,379	70	2,065	17,396	73	84	3,783	84	81	3,448	29,676				
綿 糸		202		176	1,505	50	3,347	19,856	104	100	5,070	96	96	3,918	33,663				
織物合計	千SM	92,166		29,404	251,922	93	765,782	1,990,802	96	101	1,221,025	96	98	366,512	3,151,180				
絹織物		568		879	7,533	94	4,711	66,298	90	92	7,586	88	88	12,682	109,036				
人絹織物		6,816		2,177	18,653	115	50,577	146,462	107	103	74,363	100	100	26,439	227,232				
スフ織物		547		273	2,338	95	6,123	23,695	96	103	9,863	99	99	4,484	38,529				
合繊長織物		45,319		11,095	95,054	91	365,195	732,319	96	106	582,325	102	102	127,729	1,098,929				
(ナイロン)		6,122		1,438	12,323	97	45,979	90,393	97	107	72,490	103	103	15,668	134,852				
(ポリエステル)		34,137		7,765	66,528	89	273,983	61,926	93	101	447,346	98	98	93,225	802,228				
合繊短織物		15,165		3,785	32,424	118	119,869	244,763	104	109	177,576	106	106	41,653	358,097				
絹織物		18,409		6,695	57,358	91	188,187	576,934	91	96	315,628	92	92	112,854	969,680				
毛織物		5,304		4,475	38,343	95	28,954	22,307	96	98	49,590	98	94	37,503	322,469				
不織布	千SM	64,558		6,116	52,396	124	476,525	47,071	120	117	609,944	117	112	62,968	541,547				
タイヤコード織物	千SM	1,646		281	2,410	113	12,955	2,194	119	122	17,335	117	117	2,872	24,694				
コートツド織物	トン	1,530		3,889	33,323	105	13,660	297,398	113	116	18,074	116	112	46,353	398,997				
ニット生地	ドル	6,203		53,141		100	28,467	426,771		107	103	107	103	73,497	631,885				
アパレル	ドル	4,178		35,797		105	28,467	237,900		107	103	107	103	40,656	349,292				
その他	ドル	10,753		92,126		101	87,391	729,314		105	101	105	101	127,392	1,095,334				

(注) 1. 織維品総合計は、HS関税分類11部の合計。 2. 原料(綿)、糸、織物合計は分類番号50類から55類までのそれぞれの合計。

3. アパレルは61類(ニット製衣類)と62類(布帛製衣類)を合算したもの。 4. その他は、63類及び56類～59類の一部商品。

Ⅱ. 原料(綿・糸)の輸出

単位：トン、千ドル、セント、%

	2007年8月				2007年1～8月			
	数量	前年 同月比	金額	単価	数量	前年 同期比	金額	単価
スフ綿	6,328	127	23,848	377	48,646	121	176,493	363
合繊綿	23,226	80	67,225	289	212,298	98	581,078	274
ポリエステル	4,558	106	8,186	180	30,439	96	53,635	176
アクリル	16,088	73	46,323	288	160,310	97	417,107	260
他合繊綿	2,580	89	12,716	493	21,549	110	110,336	512
人絹糸	1,036	96	8,105	782	7,910	99	62,377	789
合繊長糸	10,094	107	66,224	656	71,652	98	473,949	661
ナイロン	2,595	123	17,146	661	16,466	102	111,126	675
ポリエステル	3,189	101	13,149	412	23,741	91	99,765	420
他合長糸	4,310	103	35,929	834	31,445	101	263,058	837
綿糸	202	50	1,505	745	3,347	104	19,856	593

出所：財務省統計

<綿輸出>

合繊綿、スフ綿などの綿合計の輸出は、ポリエステル綿、スフ綿が増勢で推移したが、主力のアクリル綿が大幅に減少し、全体で、数量で12%減の3万2,142トンと2桁の減少となった。また、金額は、全体的に単価が上昇しているが、数量が大幅に減少したため1%減の9,311万ドルとなった。

輸出依存度の非常に高い**アクリル綿**は、数量で27%減の1万6,088トン、金額で13%減の4,632万ドルと大幅に減少した。

全体の74%を占める東アジア向けは、タイが12%増と健闘したが、最大輸出先の中国が35%減と大幅に減少したのを始め、香港12%減、韓国60%減、インドネシア24%減と何れも後退し、東アジア全体では33%減の1万1,484トンとなった。他市場では、EUは主要国が軒並み増加となり76%増の781トンと好調に推移したが、西アジアは、これまで増勢で推移してきたイランが22%減の1,863トンと減少に転じ、また、米国は14%減の816トン、アフリカはナイジェリアが不振で5%減の857トンとなった。

ポリエステル綿は、数量で6%増の4,558トン、金額で13%増の819万ドルと好調に推移した。最大市場の東アジアは、中国が7%減となったが、最大市場のタイが21%増、マレーシア4%増、インドネシア392%増と各々増加し、東アジア全体では、30%増の3,080トンとなった。他市場では、EUは、イタリア、英国は伸びたが、ベルギー、フランス、ドイツが減少し16%減の958トン、一方、米国は30%減の416トンとなった。

その他品目では、資材用が中心の**ビニロン綿**は、中国を中心とする東アジアが31%増と健闘したが、主力のEU向けが、フランス、アイルランドが振るわず26%減となり、全体では数量で6%減の1,582トンとなった。但し、金額では、単価の上昇により4%増の596万ドルとなった。

スフ綿は、数量で27%増の6,328トン、金額で32%増の2,385万ドルと好調に推移した。アセテート・トウが81%を占めているが、そのアセテート・トウは中国、韓国、EUは減少推移となったが、ベトナム、フィリピン、トルコ、南アフリカが大幅に増加し、全体では、数量で7%増の5,139トン、金額で16%増の2,026万ドルとなった。

一方、ビスコースレーヨン綿は、量は少ないが、米国を中心に、このところ、爆発的に増加しており、数量で603%増の1,173トン、金額で621%増の348万ドルと著増した。

<糸輸出>

注：財務省輸出統計において、合繊長繊維糸に分類される品目で、2007年から「弾性を有するもの」及び「ポリプロピレン」の2品目が新設されたことから、本年度の統計には「弾性を有するもの」の中にナイロン、ポリエステル、ポリウレタン等の長繊維糸が一部含まれていると推測され、下記品目別の対前年比が整合性に欠けるものとなっている。特に、ポリウレタン長糸は新設された「弾性を有するもの」に殆んどが分類され、統計に上がっていると推測されるので、特に、ポリウレタン長糸の正確な実績は不明である。

参考までに「弾性を有するもの」の今年の輸出実績は次のとおり。

2007年1月	870トン、698万ドル	2月	850トン、718万ドル
3月	1,544トン、1,266万ドル	4月	1,069トン、946万ドル
5月	1,158トン、1,016万ドル	6月	1,424トン、1,157万ドル
7月	1,085トン、991万ドル	8月	1,143トン、1,060万ドル

糸の輸出は、人絹糸、合繊短繊維糸、綿糸等が総じて低調な推移となったが、主力の合繊長繊維糸が健闘し、全体で数量で2%増の1万1,770トン、金額で6%増の8,262万ドルと久し振りに増勢推移となった。

主要品目の中で**ナイロン長繊維糸**は、数量で23%増の2,595トン、金額で20%増の1,715万ドルと好調に推移した。シェア77%の東アジアは、フィリピン、台湾は低調な推移となったが、最大市場のタイ、中国、香港が増加し、20%増の2,083トンとなった。その他では、シェア12%のEUは、ドイツ、オランダ、ルーマニアが好調に推移し48%増の276トン、また、シェア4%の米国も54%増の104トンとなった。品種別では、タイヤコード用等の「強力糸」がシェア71%を占め、数量で38%増の1,854トン、一方、衣料用途用等の「その他糸」は3%減の741トンとなった。

ポリエステル長繊維糸は、数量で1%増の3,189トン、金額でも1%増の1,315万ドルと数量、金額共に微増推移となった。シェア59%の東アジアは最大市場の中国が減少したが、香港、台湾、韓国、タイが健闘し、15%増の1,903トンとなった。その他ではシェア16%の米国は60%減と激減、また、シェア13%のEUも11%減となった。品種別では、「その他糸」がシェア73%を占め、6%減の2,340トン、「強力糸」は23%増の850トンとなった。

その他では、**アクリル長繊維糸**は、数量で16%減の1,358トン、但し、金額は単価のアップにより、横ばいの815万ドルとなった。欧米向が主体であるが、主力のEUは中心のフランスが増加し14%増となったが、米国は48%減と大幅に減少した。また東アジアは、香港、韓国が減少し37%減となった。

この結果、**合繊長繊維糸全体**では、数量で7%増の1万94トン、金額は10%増の6,622万ドルとなった。

天然繊維関係では、**綿糸**は、最大市場の中国が50%減、香港が52%増と各々半減し、全体では数量で50%減の202トン、金額は38%減の238万ドルとなった。この中国、香港の2カ国で

全体の88%を占めている。

Ⅲ. 織・編物(絹・化合織・綿・毛)の輸出

1. 各品目の輸出状況

8月の織物(絹・化合織・綿・毛)の輸出は、ポリエステル短繊維織物が好調に推移したが、その他の織物は、主力のポリエステル長繊維織物、綿織物等総じて不振で、織物トータルでは、数量で前年同月比7%減(前年同期比:4%減)となった。但し、金額では、ポリエステル長繊維織物等単価が上昇し1%増(同2%減)となった。

なお、この織物トータルの中に含まれていない、ニット生地、コーテッド織物は、各々堅調に推移した。

市場的に見ると、織物トータルでは、主力の東アジアで、主要国では、韓国、ベトナム、マレーシアが数量、金額共に前年同月を上回り好調に推移した。一方、中国、香港、台湾、シンガポール、インドネシア、タイ、フィリピンは数量、金額共に前年同月を下回り不振推移となった。特に中国向けの不振は、今後のわが国の輸出にとって大きな不安材料となっている。

一方、純輸出市場について、西アジアは、アラブ首長国が、数量、金額共に前年同期を大きく上回り好調を持続しているが、サウジアラビアは前年同期を下回り、対照的な推移となった。

また、欧米市場は、EUは、量的には後退したが、金額は単価のアップにより2桁の増加、一方、米国は主力の綿織物、ポリエステル長繊維織物の不振から、数量、金額共に減少推移となった。

(単位:1000SM、1000\$、前年比は数量比%)

	2007年8月			2007年1-8月		
	数量	金額	前年同月比	数量	金額	前年同期比
絹織物	568	7,533	94	4,711	66,298	90
人絹織物	6,816	18,653	115	50,577	146,462	107
スフ織物	547	2,338	95	6,123	23,695	96
合織(長)織物	45,319	95,054	91	365,195	732,319	96
ポリ(長)織物	34,137	66,528	89	273,983	516,160	93
ナイロン織物	6,122	12,323	97	45,979	90,393	97
合織(短)織物	15,165	32,424	118	119,869	244,763	104
ポリ(短)織物	14,046	29,384	118	110,810	224,352	102
綿織物	18,409	57,358	91	188,187	576,934	91
毛織物	5,304	38,343	95	28,954	185,978	96
コーテッド織物	1,530	33,323	105	13,660	297,398	113
ニット生地	15,325	53,141	109	126,395	426,771	103

(注) 1. ポリエステル(長)、ナイロン(長)織物は、ポリエステル、ナイロンの重量が全体の85%以上の織物。

2. コーテッド織物の数量単位はトン。

2. 品目別特記事項

ポリエステル長繊維織物

ポリエステル長繊維織物の8月の輸出は、数量で前年同月比11%減（前年同期比：7%減）、金額で5%減（同2%減）と数量、金額共に低調な推移となった。

数量で全体の73%を占める東アジアは、主要市場では、最大市場の中国が10%減（同6%減）、香港23%減（同15%減）、韓国17%減（同7%減）、フィリピン32%減（同5%減）、インドネシア61%減（同43%減）と各々減少し、ベトナム16%増（同9%増）、タイ4%増（同1%減）、台湾9%増（同13%減）、シンガポール16%増（同3%減）、マレーシア82%増（同11%減）、スリランカ185%増（同25%減）と増加したが、東アジア全体として7%減（同6%減）と不振に終わった。

純輸出市場は、西アジア向けは、アラブ首長国が15%増（同13%増）と健闘しているが、サウジアラビアが21%減（同22%減）と減少し、西アジア全体として11%減（同13%減）となった。

一方、欧米先進国市場は、米国が39%減（同12%減）、EUは24%減（同8%減）と共に大きく後退した。

EUの主要国別では、ドイツが7%増（同15%増）と健闘したが、その他は、英国が36%減（同22%減）、フランス2%減（同5%減）、イタリア33%減（同4%減）、スペイン26%減（同24%減）と軒並み減少推移となった。

ポリエステル（長）織物の1-8月の加工別輸出を見ると、太宗の浸染品は4%減、プリント品が4%減、生機・晒品が21%減と各々減少推移、一方、糸染品は9%増となっている。

ポリエステル短繊維織物

8月のポリエステル短繊維織物の輸出は、数量で18%増（同2%増）、金額で17%増（同3%増）と数量、金額共に2桁の増加となった。

市場的には、シェア56%の東アジアと同43%の西アジアの両地域向けでほぼ全量を占めている市場構成に変わりはないが、8月は東アジア、西アジアが共に2桁の増加となり、好調に推移した。

東アジア向けについては、主要国では、最大市場の中国が1%増（同7%減）、香港150%増（同9%減）、ベトナム50%増（同13%増）、韓国199%増（同25%減）と軒並み好調な推移となり、シンガポールは62%減（同6%減）と激減したが、東アジア全体として、17%増（同5%減）となった。

民族衣装用中心の西アジア向けは、日本品への回帰もあり、サウジアラビアが2%増（同16%増）、アラブ首長国12%増（同24%増）、クエート175%増（同21%増）と主要国は揃って好調に推移し、西アジア全体として16%増（同13%増）となった。

品目別にポリエステル（短）織物の1-8月の輸出を見ると、太宗のT/C織物が7%減、T/R織物が6%減となっているのに対し、100%スパン織物が4%増、また、その他交織織物は17%増と2桁の増加を記録し健闘している。

その他絹化合繊織物

ナイロン織物の8月の輸出は、数量で3%減（同3%減）、金額で7%増（同3%増）と数量減の金額増となった。

全体の84%と圧倒的なシェアを占める東アジアは、最大市場の中国が2%増（同3%増）、ベトナム6%増（同11%減）と好調に推移したが、香港が28%減（同31%減）、韓国21%減（同1%増）と大幅に減少し、東アジア全体として4%減（同6%減）となった。

一方、欧米市場は、シェア6%の米国は12%減（同2%増）と減少したが、同じくシェア6%のEUは2%増（同85%増）と増勢を維持した。

加工別の1-8月の輸出は、太宗の浸染品が3%増、プリント品が32%増、一方、生機・晒品は15%減となっている。

人絹織物の8月の輸出は、数量で15%増（同7%増）、金額で1%減（同横ばい）と数量増の金額微減となった。

全体の73%を占める東アジア向けは、最大市場の香港が13%増（同10%増）、中国40%増（同11%増）、韓国38%増（同49%増）と各々好調に推移し、台湾は27%減（同12%減）と減少したが、東アジア全体として19%増（同7%増）となった。

東アジア以外の市場では、シェア14%の西アジアは、サウジアラビアが45%減（同2%減）と大幅に減少し、アラブ首長国は7%増（同9%増）と増加したが、全体として8%減（同7%増）となった。

一方、欧米市場は、シェア4%の米国は160%増（同17%増）と大幅に増加、同じくシェア4%のEUも11%増（同5%増）と好調な推移となった。

1-8月の素材別輸出では、全体の53%のシェアを占めるアセテート織物は2%の微増、同37%のキュプラ織物は17%増となっているが、同7%のビスコース織物は3%減となっている。

加工別では、太宗の浸染品は6%増、生機・晒品が17%増、糸染品が5%増、一方、プリント品は42%減となっている。

スフ織物の8月の輸出は、数量で5%減（同4%減）、金額で5%増（同1%減）と数量減の金額増となった。

全体の83%を占める主力の東アジア向けは、圧倒的シェアを占める持ち帰り用中心の中国が7%減（同7%減）と減少したが、香港が54%増（同85%増）と大幅に増加し、東アジア全体として2%増（同3%増）となった。

その他主要市場では、シェア8%の米国は14%減（同14%減）、同じくシェア8%の西アジアはアラブ首長国の減少から20%減（同19%減）となった。

絹織物の8月の輸出は、数量で6%減（同10%減）、金額で10%減（同12%減）と数量、金額共に低調な推移となった。

全体の91%を占める東アジア向けは、香港が14%増（同22%増）となったが、最大輸出国のベトナムが5%減（同4%減）、中国9%減（同22%減）と各々減少し、東アジア全体として5%減（同10%減）となった。

その他市場では、量的に僅少であるが、シェア6%の民族衣装用主体の西アジアは、サウジアラビアが減少し、全体として17%減（同21%減）となった。

綿織物

綿織物の8月の輸出は、数量で9%減（同9%減）、金額で3%減（同8%減）と、数量、金額共に低調な推移となった。

全体の81%と圧倒的なシェアを占める東アジア向けは、主要国では、ベトナムが43%増（同18%増）、韓国45%増（同11%減）、マレーシア8%増（同8%減）、フィリピン17%増（同13%増）と健闘したが、最大市場の中国が9%減（同14%減）、香港26%減（同8%減）、タイ46%減（同19%減）、台湾35%減（同9%減）と減少し、東アジア全体として11%減（同11%減）となった。

また、シェア12%の米国も12%減（同3%増）と低調な推移となった。

1-8月の加工別輸出では、太宗の糸染品は3%増と増勢を維持しているが、浸染品は10%減、プリント品は16%減、晒品は23%減、生機品は35%減と何れも減少推移となっている。

コーテッド織物

8月のコーテッド織物の輸出は、数量で5%増（同13%増）、金額で4%増（同12%増）と数量、金額共に堅調な推移となった。

全体の82%のシェアを占める東アジア向けは、最大市場の中国が10%増（同16%増）、香港6%増（同5%減）、ベトナムは28%増（同28%増）と好調に推移し、タイ37%減（同8%増）、インドネシア24%減（同9%増）、台湾37%減（同75%増）と減少したが、東アジア全体として4%増（同12%増）となった。

一方、欧米市場は、シェア6%の米国は27%増（同48%増）と好調を持続したが、シェア5%のEUは23%減（同2%増）と不振推移となった。

毛織物

8月の毛織物の輸出は、数量で5%減（同4%減）、金額で3%減（同6%減）と数量、金額共に低調な推移となった。

市場的には、東アジアが96%とほぼ全量を占めている。主要国では、韓国が2%増（同3%減）と健闘したが、ベトナムが横ばい（同51%増）、最大市場の中国が7%減（同6%減）、香港24%減（同4%減）と減少し、東アジア全体として7%減（同4%減）となった。

ニット生地

ニット生地の8月の輸出は、数量で9%増（同3%増）、金額で横ばい（同3%増）となった。

市場的には、東アジアが圧倒的なシェアを占めているが、これを主要国別に見ると、全体の62%のシェアを占める最大市場の中国が19%増（同8%増）、香港11%増（同10%減）、ベトナム39%増（同4%減）と好調に推移した。一方、韓国は25%減（同8%増）、台湾34%減（同13%減）、インドネシア40%減（同8%増）、タイ7%減（同20%減）と各々低調な推移となった。

また、欧米先進国向けは、米国が17%減（同23%増）と低迷したが、EUは37%増（同28%増）と大幅な増加となった

IV. 主要繊維二次製品の輸出

<概況>

繊維二次製品の2007年8月の輸出は、金額（ドル）ベース（以下同じ）で、アパレルは、布帛製下着は減少したが、最大品目の布帛製外衣及びニット製外衣・下着が何れも増勢で推移し、全体では前年同月比5%増の3,580万ドルとなった。他方、その他の品目については、細幅織物・紐類及び敷物が増加推移、漁網・その他の網・網地は減少推移となった。

2007年8月の主要繊維二次製品輸出状況

単位：千米ドル、金額：前年比%

	2007年8月		2007年1～8月	
	金額	前年同月比	金額	前年同期比
布帛製衣類・付属品	19,036	105	140,172	105
外衣	12,332	107	75,190	108
下着	4,067	94	31,444	104
スカーフ・マフラー	697	133	4,663	96
ニット製衣類・付属品	16,761	106	97,728	102
外衣	7,014	104	32,915	102
下着	6,046	117	42,960	102
敷物	3,456	151	22,187	117
漁網・網・網地	3,184	84	27,693	92
細幅織物・紐類	14,245	108	115,248	97

<アパレル>

布帛製外衣：主要市場では、最大市場の米国は横ばい、中国は2%減、台湾4%減となったが、香港が40%増、韓国26%が増、EU26%増と各々大きく増加し、全体として7%増の1,233万ドルと好調な推移となった。なお、この6カ国・地域で全体の94%を占めている。

布帛製下着：主要市場では、最大市場の台湾が31%減、香港6%減、EU26%減、米国7%減と不振推移となり、韓国が16%増、中国42%増、シンガポール19%増、タイ74%増と健闘したが、全体として6%減の407万ドルとなった。なお、この8カ国・地域で全体の97%を占めている。

布帛製スカーフ・マフラー類：香港が16倍と激増、米国も42%増と大幅に増加し、最大市場のアラブ首長国が40%減、サウジアラビアが壊滅、EU25%減と各々減少したが、全体では33%増の70万ドルとなった。なお、この5カ国・地域で全体の87%を占めている。

ニット製外衣：主要市場では、最大市場の香港が37%増、韓国64%増、中国230%増、米国19%増と各々大きく増加し、台湾は20%減、EU1%減と減少したが、全体では28%増の524万ドルとなった。なお、この6カ国・地域で全体の96%を占めている。

ニット製下着：主要市場では、最大国の台湾は1%の微減となったが、香港8%増、韓国22%増、中国85%増、米国6%増、EU118%増と各々好調に推移し、全体では17%増の605万ドルとなった。なお、この6カ国・地域で全体の96%を占めている。

<敷物>

主要国では、最大市場の中国が30%増、ベトナム9%増、香港30%増、台湾3%増、タイ176%増、韓国453%増、米国63%増、メキシコ11倍増と各々好調に推移し、全体では51%増の346万

ドルと大幅な増加となった。

〈漁網・その他の網・網地〉

主要国では、最大市場のベトナムが3%増、中国23%増、韓国432%増、フィリピン7%増と好調に推移したが、ロシアが60%減、米国68%減、EU7%減、オーストラリア73%減、チリが壊滅状況となり、全体では7%減の361万ドルとなった。

〈細幅織物・紐類〉

主要国では、最大市場の中国が6%増、ベトナム29%増、シンガポール312%増、米国171%増と健闘し、香港が12%減、タイ25%減、EU26%減、メキシコ12%減と何れも低調な推移となったが、全体では8%増の1,425万ドルとなった。

◎ 2007年7月の繊維品輸入概況

1. 繊維製品計

7月の輸入は、金額が円ベースで前年同期比112.8%（前月比は124.7%）、ドルベース同107.3%（前月比は125.8%）、数量(重量)同105.8%（前月比は115.1%）となり、円金額が4ヶ月続けて増加、ドル金額および数量は共に2ヶ月ぶりに増加した。前月比は、金額、数量(重量)ともに秋冬物の入荷時期が始まり増加。

糸類は数量で前年同期比7.9%増と12ヶ月ぶりに減少した前月から再び増加。内訳は、綿糸、人織(長)糸、人織(短)糸が増加、絹糸、毛糸、その他の糸が減少した。織物類も同9.8%増と2ヶ月ぶりに増加した。黄麻織物、人織(長)織物、メリヤス生地、その他の織物が増加、絹織物、毛織物、綿織物が減少、人織(短)織物は前年並みとなった。衣類は同5.9%の増加となり2ヶ月ぶりに増加。衣類を除いたインテリア用品等の二次製品も同3.0%増で2ヶ月ぶりの増加となった。

前月は前年同期比で円金額が6.7%増加したもののドル金額は0.3%減、数量も1.6%の減少となったが、今月は円金額が12.8%増加したほか、ドル金額も7.3%、数量も5.8%の増加となった。なお、7月の為替相場は、前年同月比5円92銭円安の121円59銭。ドル金額の内訳を見ると、糸類が7.4%の増加、織物類も2.9%増、太宗を占める衣類も7.9%増、二次製品も6.2%増加し、繊維製品計では7.3%の増加となった。

2. うち糸類

▶ 綿糸の輸入実績は、トンベースで前月比14.0%の増加となり、前年同月比も6.8%のプラスとなった。これは、前月が端境期でもあり今年最低水準の輸入となった反動によるものと思われる。全体の8割強を占める純綿糸の輸入を前月に比較すると国別では、同率3位となったインド6.9%、中国2.5%それぞれ減少したものの、首位のパキスタン12.9%、2位のインドネシア27.3%それぞれ増加となった。番手別に見ると20番手中心がほぼ前月並に留まったものの、30番手中心が5.2%、40番手中心10.2%、40番手以上は24.0%それぞれ増加となった。糸種別にみるとカード糸が12.1%、コーマ糸も6.3%のプラスとなり、また混紡綿糸も前月比46.5%の大幅な増加となった。

- ▶ 毛糸の輸入実績は前年同月比重量ベース 19.5%減と 2 ヶ月続けて減少となった。糸種別に見ると、紡毛糸が同 35.8%減と 2 ヶ月連続で減少、太宗を占める梳毛糸も同 18.1%減となった。国別では、トップシェアの中国が前月と同じく同 20.6%減と 2 ヶ月続けて減少したのに加え、第 2 位のマレーシアも同 25.4%減少した。この他の主要国では、インド、イタリア、ペルーが増加、台湾、タイからの輸入は減少。
- ▶ 人織糸の輸入実績は、トンベースで人織(長)糸が前月比 19.0%の増加、前年同月比も 12.1%増となり 10 ヶ月連続でプラスが続いている。これは昨年末以降ポリエステル糸の輸入が増加傾向にあるのに加え、特に当月は昨年 1 月の史上最高を更新したことによるものである。主要商品を前月に比較すると、ポリエステル糸の 21.0%の大幅増もさることながらナイロン糸 6.1%増、量的に少ない人絹糸も 14.4%と軒並み増加となった。一方、人織(短)糸も主力商品の T/C, T/R のポリエステル紡績糸が 15.7%増、マイヤー毛布用のアクリル紡績糸も 36.9%増加、ガムテープ用のスフ糸も 23.0%の増加となったこともあり、全体では前月比 19.1%増、前年同月比も 11.4%のプラスとなった。

3. うち織物類

- ▶ 綿織物の輸入実績は、面積ベースで前月が今年最低の水準であったこともあり前月比は 22.0%の大幅増加となったものの、前年同月比で見ると 5 ヶ月連続落ち込みの 8.8%のマイナスとなった。これは近年、衣料用トレンドが合織に流れていること、また主力の寝装分野もマーケットがシュリンクしていること等によるものと思われる。国別に前月に比較すると、全体の 78%を占める中国が 25.4%の大幅増、2 位のインドネシア 19.2%、3 位のパキスタン 31.0%それぞれ増加となっている。品種別にみても、主力のポップリンをはじめ金巾、粗・細布ともプラスとなった。
- ▶ 毛織物の輸入実績は、面積ベースで前年同月比 7.1%減少し、10 ヶ月続けて減少となった。国別では数量で第 1 位の中国からの輸入が同 10.8%増と 10 ヶ月ぶりの増加、2 位のイタリアからの輸入は 16.6%減となった。また、第 3 位のイギリスも同 18.7%減で 2 ヶ月続けて減少。品種別では、紡毛織物が同 10.2%減と 6 ヶ月続けて減少、主力の梳毛織物も同 7.5%減と 10 ヶ月続けて減少した。
- ▶ 人織織物の輸入実績は、面積ベースで人織(長)織物が前月比 5.3%のマイナスとなったものの、前年同月比は 23.7%増とポリエステル、ナイロンの主力商品が昨年より増加が続いていることもあり 9 ヶ月連続プラスとなった。商品別に前月に比較すると、ポリプロピレンなど其の他織物が 9.1%の増加となったものの、量的に少ないナイロン織物が 37.3%の大幅減、主力商品のポリエステル織物も 8.9%のマイナスとなった。国別にみると首位でポリエステル織物が中心の中国が 4.4%増、韓国 13.5%、台湾 20.2%とそれぞれ増加となったものの、ベトナムを中心とするその他の国は 29.9%の減少となった。一方、人織(短)織物は主力商品のポリエステル織物が T/C 織物の 2 桁の増加もあって 4.8%増、スフ織物は今年前半の高水準の調整もあり 17.8%の減となったものの、全体では前月比 2.3%減、前年同月比は横這いで留まった。

4. うち衣類

ニット製衣類が対前年同月比(枚数)で 8.5%増、布帛製衣類も同 3.8%増、身の廻り品も重量ベース 6.2%増加し、衣類計で重量ベース 5.9%増加となった。ニット製衣類が 4 ヶ月続けて増加し、布帛製衣類は 5 ヶ月ぶりに増加、身の廻り品は 2 ヶ月ぶりに増加、衣類計も 2 ヶ月ぶりに増加した。

主要国別に見ると

- ▶ 中国は対前年同月比（枚数）でニット製衣類が 8.8%増加し 4ヶ月続けて増加、布帛製衣類も 3.3%増で 5ヶ月ぶりの増加、身の廻り品は重量ベース 7.1%増で 2ヶ月ぶりに増加した。今年 1～7月の衣類計（重量）のシェアは 90.8%で前月から 0.1ポイント増（金額ベースでのシェアは 82.1%で前月から 0.5ポイント減）。
- ▶ 韓国はニット製衣類が同 0.6%の微減、布帛製衣類が同 24.3%の大幅減となり、ニット製衣類は 4ヶ月ぶりの減少、布帛製衣類は 15ヶ月連続で減少した。
- ▶ イタリアはニット製衣類が同 5.8%減と 6ヶ月続けて減少、布帛製衣類も同 11.1%減少となり 2ヶ月続けて減少した。
- ▶ ベトナムはニット製衣類が同 18.9%増と 3ヶ月ぶりの増加、布帛製衣類も同 25.0%増となり 4ヶ月続けて増加した。
- ▶ 商品別には、ニット製衣類ではズボン、ドレス、アウターシャツ、セーター、下着類が増加、スーツ、ジャケット、スカート、スポーツウェアが減少、コート、アンサンブルは前年同月並みとなった。布帛製外衣類では紳士用が同 8.1%増、婦人用も同 4.1%増加した。紳士用では、コート、スーツ、アンサンブル、ズボンが増加、ジャケット、下着類が減少、婦人用はコート、アンサンブル、ドレス、ズボン、ブラウス、下着類が増加、スーツ、ジャケット、スカートが減少となった。

前月は数量が対前年同月比 1.6%減、金額は円ベースで 6.7%増、ドルは 0.3%の微減となったが、今月は数量が 5.8%増、金額は円ベースで 12.8%増、ドルは 7.3%の増加となった。

中国では 7月 1日から増値税の還付率が引き下げられ、コストアップによる輸入減が懸念されたが、今月は中国を始め総じて堅調な輸入となった。

8月の国内消費市況は「各地で日最高気温が観測史上 1位の値を更新するなど全国的に気温が高く、夏物商材が好調だったものの、秋物商材の動きが鈍く総販売額は前年同月を下回った」（日本チェーンストア協会）と、一部商品は好調だったものの全般としては前年並み若しくは微減と盛り上がりには欠けた。



◎ 中国、2007年 1-8月の繊維品貿易概況

—輸出は 21%増の 1,055 億 4,870 万ドルと 1,000 億ドルを突破—

2007年 1-8月の中国の繊維品輸出は、前年同期比 21%増の 1,055 億 4,870 万ドルと、早くも 1,000 億ドルの大台を突破した。これを月別の伸びで見ると、本年 1月の伸びは前年同月比 20%増、2月は同 74%増と飛躍的に伸び、3月は同 23%減と一転して大幅に減少し先行きが注目されたが、以後 4月は 17%増、5月は 19%増、6月は 26%増、7月は 29%増と増勢傾向を強めていた。

7月から実施された増値税の還付率引き下げもあり、その影響が注目されたが、8月は、

伸び率は21%増と、6月、7月の伸びよりは鈍化している。更に、8月後半から加工貿易の制限が強化され、繊維も衣料品を除き、対象品目に追加されており、その今後の影響も注目される。

<地域別・国別輸出状況>

地域別では東アジアがシェア36%（前年同期比10%増）、ヨーロッパが同27%（同19%増）、北米が同17%（同33%増）、西アジアが同7%（同46%増）、中米が同3%（同34%増）、南米が同2%（同29%増）、アフリカが同5%（同40%増）、大洋州が同2%（同15%増）の市場構成となっており、各地域共に軒並み増勢推移となっている。

国別では、1位EU（177億1,451万ドル：横ばい）、続いて米国（149億7,363万ドル：30%増）、香港（119億3,160万ドル：5%増）、日本（119億2,921万ドル：4%増）、ロシア（54億3,882万ドル：104%増）、韓国（34億378万ドル：5%増）、カナダ（29億3,291万ドル：46%増）、アラブ首長国（26億519万ドル：53%増）、シンガポール（22億7,190万ドル：68%増）、トルコ（21億4,788万ドル：54%増）、オーストラリア（17億4,858万ドル：15%増）、カザフスタン（12億9,151万ドル：37%増）、南アフリカ（12億432万ドル：32%増）、メキシコ（11億7,849万ドル：9%増）の順となっている。

国別でも軒並み増加推移となっているが、東アジア向けはシンガポールを除き、香港、日本、韓国等は低い伸びに止まっているのに対し、北米の米国、カナダ、ヨーロッパのロシア、トルコ、またアラブ首長国、南アフリカが大幅な伸びを記録している。

またEUは横ばい止まっているが、これは、今年からEUに加盟したルーマニア、ブルガリアが、昨年の著増から、今年は一転して激減しているのが大きな要因である。

<品目別輸出状況>

品目別では、中国の繊維品輸出全体の65%を占める最大輸出品目の衣料品及び同付属品の輸出は、24%増の690億2,130万ドルと、全体の伸びを上回り、中国の繊維品輸出を牽引している。

内容的には、ニット製の衣料品及び同付属品の輸出が38%増の380億5,899万ドル、布帛製衣料品及び同付属品の輸出は11%増の309億6,231万ドルで、特にニット製衣料品が高率の伸びとなっているのが目立っている。

衣料品の主要輸出先は、ニット製衣料品は、トップ市場はEU（50億6,094万ドル：23%減）、続いて米国（49億2,976万ドル：69%増）、日本（49億1,900万ドル：12%増）、ロシア（35億936万ドル：198%増）、香港（33億9,379万ドル：12%増）、カナダ（15億300万ドル：117%増）、シンガポール（15億325万ドル：170%増）、アラブ首長国（11億5,618万ドル：128%増）、韓国（9億3,061万ドル：2%減）、カザフスタン（8億9,033万ドル：47%増）、パナマ（8億347万ドル：196%増）、オーストラリア（7億4,081万ドル：16%増）の順となっており、米国、カナダ、ロシア、シンガポール、アラブ首長国、パナマは大幅増加、一方、EUは2桁の減少となっている。

布帛製衣料品の輸出先は1位がEU（78億8,016万ドル：9%増）、以下、米国（60億6,000万ドル：26%増）、日本（50億153万ドル：横ばい）、香港（26億283万ドル：横ばい）、ロシア（11億5,151万ドル：26%増）、カナダ（10億3,400万ドル：10%増）、韓国（10億914万ドル：4%増）、オーストラリア（5億8,431万ドル：13%増）、パナマ（5億276万ドル：28%増）、スイス（4億8,469万ドル：56%増）の順となっている。

衣料品以外の素材輸出は、原料類（綿・糸）は好調に推移しているが、織物類は特に量的には伸び悩んでいる。

織物類の輸出は、太宗の綿織物、合繊短繊維織物、合繊長繊維織物が、量的には横ばいと伸び悩み、全体として、数量で1%減の116億6,000万メートルとなった。但し、金額は、単価のアップにより5%増の116億4,872万ドルとなった。

糸類の輸出は、各品目共に増勢で推移しており、合繊長繊維糸、中でも特にポリエステル長繊維糸の伸びが大きく、またその他の綿糸、合繊短繊維糸も増勢を維持しており、全体として数量で20%増の141万6,786トン、金額で17%増の48億9,129万ドルと、数量、金額共に増加推移となっている。

綿類の輸出は、天然繊維、ポリエステル綿を中心とする合繊綿、またスフ綿の輸出が共に大增勢で推移しており、数量で42%増の45万6,267トン、金額で48%増の12億7,868万ドルと、規模は未だ小さいが、高い伸びを記録している。

－輸入は5%減の170億1,502万ドルと低調に推移－

一方繊維品輸入は、綿類の輸入は、綿花輸入の急減もあり大幅に減少、糸類、織物類は共に数量減の金額微増で、衣料品は若干の増加となっているが、全体として5%減の170億1,502万ドルと低調な推移となっている。

この結果、中国の2007年1-8月の繊維品貿易収支の黒字額は前年同期比27%増の885億3,368万ドルとなった。

<地域別、国別輸入状況>

地域別では東アジアがシェア70%（前年同期比：1%増）を占め、西アジアが同2%（同42%減）、ヨーロッパが同8%（同19%増）、北米が同10%（同35%減）、中米が同0.2%（同23%減）、南米が同1%（同24%減）、アフリカが同2%（同40%減）、大洋州が同7%（同30%増）の市場構成となっており、東アジア、ヨーロッパ、大洋州からの輸入は増加しているが、北米からの減少が目立っている。

国別では、1位日本（23億6,924万ドル：2%減）、台湾（22億207万ドル：2%減）、韓国（18億2,065万ドル：1%減）、米国（16億4,150万ドル：35%減）、EU（12億8,035万ドル：17%増）、香港（11億5,539万ドル：5%減）、オーストラリア（11億4,494万ドル：33%増）、インド（6億7,304万ドル：5%減）、パキスタン（5億3,996万ドル：12%増）の順となっている。米国の急減は、綿花の輸入減が最大の要因である。

<品目別輸入状況>

品目別輸入を見ると、綿関係では、天然繊維の輸入は米国よりの綿花の輸入が大きく減少し、また、合繊綿の輸入も低調で、数量で31%減の292万8,159トン、金額で20%減の50億3,507万ドルと大幅な減少となった。

糸関係は、太宗の綿糸は順調な推移となっているが、合繊長繊維糸、合繊短繊維糸は共に特に数量で低調な推移となっており、全体として数量で2%減の117万9,061トン、金額で1%増の29億9,917万ドルの数量微減の金額微増となった。

一方織物類は、太宗の綿織物、合繊長繊維織物が何れも数量減の金額増となっており、トータルでは、数量で6%減の26億5,598万メートル、金額で1%増の38億9,724万ドルと数量減の金額増となった。

その他品目では、ニット生地が金額で13%増の15億5,020万ドル、コーテッド織物が4%増の7億5,269万ドルと増勢で推移している。

また衣料品は、額は小さいが、ニット製衣料品が4%増の5億545万ドル、布帛製衣料品が9%増の6億2,406万ドルと何れも着実に増加している。

2007 年 8 月の中国の繊維品輸出入状況

単位:1000ドル

	輸 入				輸 出				前年比 数量 金額
	2006 年実績		2007 年 1 月 ~ 8 月		2006 年実績		2007 年 1 月 ~ 8 月		
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
繊維品合計		25,683,011		17,015,019		138,077,857		105,548,703	121
原料(綿)合計	TON	8,183,573	2,928,159	5,035,067	TON	1,417,518	456,267	1,278,679	142
スフ綿	TON	344,456	79,226	249,703	TON	101,783	80,753	188,643	248
合繊綿	TON	1,125,033	380,801	769,137	TON	337,046	293,479	392,160	135
(ポリエステル)	TON	341,165	143,731	205,588	TON	293,652	257,704	293,456	137
(アクリル)	TON	687,536	217,128	481,140	TON	2,505	1,842	4,587	142
糸合計	TON	4,328,168	1,179,061	2,999,165	TON	6,172,372	1,416,786	4,891,287	120
人絹糸	TON	85,799	18,445	58,314	TON	341,971	69,433	282,278	120
スフ糸	TON	96,447	17,572	69,203	TON	40,827	41,244	158,125	159
合繊長繊維糸	TON	1,550,919	357,668	976,953	TON	1,323,400	534,614	1,319,663	142
(ナイロン)	TON	755,981	151,451	442,778	TON	96,873	69,208	250,012	110
(ポリエステル)	TON	486,182	167,519	309,671	TON	336,401	384,053	682,628	144
合繊短繊維糸	TON	352,440	91,682	264,155	TON	666,310	303,616	893,937	114
綿糸	TON	2,004,437	662,946	1,445,701	TON	1,146,321	403,553	1,332,061	104
織物合計	千LM	5,978,753	2,655,978	3,897,239	千LM	17,490,810	11,660,038	11,648,721	99
絹織物	千LM	107,364	21,086	58,803	千LM	786,655	156,224	492,422	99
人絹織物	千LM	142,986	52,356	100,741	千LM	41,923	26,117	24,148	98
スフ織物	千LM	89,513	25,658	53,534	千LM	958,964	710,912	428,599	80
合繊長繊維織物	千LM	2,017,757	1,200,509	1,364,279	千LM	4,894,432	4,258,010	3,371,973	100
(ナイロン)	千LM	547,808	324,818	350,244	千LM	160,404	133,512	86,029	72
(ポリエステル)	千LM	1,047,800	591,527	708,063	千LM	4,056,255	3,666,384	2,872,156	103
合繊短繊維織物	千LM	780,132	364,569	505,030	千LM	2,979,684	2,538,355	2,111,299	100
綿織物	千LM	2,183,698	907,600	1,403,488	千LM	7,020,604	3,939,139	4,560,273	100
毛織物	千LM	514,391	45,351	347,190	千LM	560,733	71,162	413,343	103
不織布	TON	596,913	102,118	432,242	TON	443,284	142,099	356,554	113
タイヤコード織物	TON	74,230	11,908	49,908	TON	250,266	60,415	202,243	116
コーテッド織物	TON	1,075,922	146,899	752,694	TON	1,428,708	465,264	1,197,956	124
ニット生地	TON	2,153,487	1,163,403	1,550,196	TON	4,840,538	3,009,136	3,800,203	402
ニット製衣料		716,671		505,445		44,902,907		38,058,989	138
布帛製衣料		867,856		624,055		43,709,665		30,962,310	111
その他		1,707,439		1,169,008		17,821,788		13,151,762	115

出所:中国海関統計



◎ EUの2007年(1-6月)の繊維品域外貿易概況

－輸出入共に2桁の増加推移－

EU統計局 EUROSTAT によれば、2007年(1-6月)のEUの繊維品輸出はドルベースで、前年同月比13%増の236億9,901万ドルと好調に推移しているが、輸入は中国に枠が再設定されているにもかかわらず、14%増の513億5,307万ドルと、輸出の伸びを上回る増加推移となっており、貿易赤字額は前年同期比13%増の276億5,400万ドルと、06年より更に大幅に増加する状況となっている。

<輸出状況>

輸出を主要地域別にみると、欧州が41%のシェアを占め18%増、続いて東アジア(シェア19%)が9%増、北米(シェア14%)が4%増、アフリカ(シェア14%)が14%増となっており、この4地域で全体の88%を占め、全て増勢で好調に推移している。

国別のベスト10は、米国(29億7,188万ドル:4%増)、スイス(26億4,144万ドル:14%増)、ロシア(23億1,926万ドル:36%増)、トルコ(14億3,110万ドル:10%増)、チュニジア(12億4,315万ドル:17%増)、日本(10億9,239万ドル:2%増)、香港(10億8,996万ドル:12%増)、モロッコ(10億4,230万ドル:7%増)、中国(7億7,613万ドル)、ノルウェー(7億3,828万ドル:12%増)、ウクライナ(7億2,969万ドル:21%増)の順となっている。

何れも増勢で推移しているが、ロシア、ウクライナの旧東欧向けの増加が特に目立っている。

品目別の輸出では、原料関係の輸出は、綿類の輸出は、羊毛等の天然繊維、また、合繊綿等が不振で、数量で24%減の36万161トン、金額で10%減の7億6,517万ドルと数量、金額共に不振推移となっている。糸類の輸出は、綿糸は好調に推移しているが、主力の合繊長繊維糸等、量的には押しなべて伸び悩んでおり、数量で1%微減の20万651トン、但し、単価のアップにより、金額では10%増の15億3,390万ドルと数量減の金額増となった。

一方、織物類の輸出も、数量で1%減の11億4,732万SM、金額で9%増の41億1,878万ドルと数量微減の金額増となっている。

織物類輸出の内訳は、主力の綿織物が数量で1%減の4億1,850万SM、金額で8%増の16億5,793万ドル、合繊長繊維織物が数量で8%減の3億4,481万SM、金額で14%増の6億919万ドル、合繊短繊維織物が数量で1%減の1億6,388万SM、金額で11%増の5億1,322万ドル何れも数量減の金額増となった。その他では、毛織物が数量で43%増の9,635万SM、金額で10%増の7億6,028万ドルと好調に推移している。

他方、EUの繊維品輸出の44%を占める最大輸出品目の衣料品の輸出は、ニット製衣料品が16%増の33億9,486万ドル、布帛製衣料品が21%増の69億5,774万ドルと順調に増加しており、EUの繊維品輸出を牽引している。

2007年1～6月のEUの繊維品輸出入状況

単位：1000ドル、%

	輸 入				輸 出				前年比	
	2006年実績		2007年(1～6)		2006年実績		2007年(1～6)			
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額		
繊維品合計										
原料(綿)合計	TON	96,750,584	813,223	51,353,071	TON	44,297,323	23,689,014	76	113	
スフ綿	TON	48,061	116,662	35,533	90,332	TON	1,558,429	360,161	76	90
合繊綿	TON	488,650	850,823	257,397	483,528	TON	219,100	34,698	110	125
(ポリエステル)	TON	406,429	574,945	212,914	323,889	TON	370,162	61,156	87	96
(アクリル)	TON	35,143	88,838	16,415	48,157	TON	23,413	7,538	129	139
糸合計	TON	1,253,196	4,205,482	712,320	2,462,434	TON	166,085	26,021	71	74
人絹糸	TON	17,922	87,039	13,890	68,334	TON	2,679,735	206,511	99	110
スフ糸	TON	79,527	243,919	48,888	168,639	TON	13,025	89,934	83	113
合繊長繊維糸	TON	506,764	1,592,248	302,047	983,258	TON	20,255	95,086	116	114
(ナイロン)	TON	75,641	359,476	47,548	228,259	TON	255,006	1,336,553	98	116
(ポリエステル)	TON	361,560	828,421	206,965	491,825	TON	125,367	691,478	82	100
合繊短繊維糸	TON	154,222	524,851	76,972	259,067	TON	46,801	175,944	112	120
綿糸	TON	374,422	1,258,515	203,445	688,348	TON	43,057	283,435	105	118
織物合計	千SM	5,041,606	5,792,284	2,805,809	3,188,742	千SM	40,313	287,438	109	108
絹織物	千SM	71,185	328,030	36,095	169,563	千SM	2,275,306	7,736,132	99	109
人絹織物	千SM	135,145	142,466	67,641	88,033	千SM	18,554	271,358	90	107
スフ織物	千SM	111,331	165,372	62,665	84,187	千SM	74,423	223,507	124	117
合繊長繊維織物	千SM	1,160,103	1,369,193	668,798	765,764	千SM	99,874	298,368	75	100
(ナイロン)	千SM	50,017	73,052	35,068	42,014	千SM	716,088	1,121,154	92	114
(ポリエステル)	千SM	632,258	724,484	334,413	388,312	千SM	40,196	111,022	82	114
合繊短繊維織物	千SM	1,178,064	1,077,973	655,511	566,002	千SM	225,118	414,521	86	114
綿織物	千SM	2,140,539	2,274,832	1,190,872	1,284,281	千SM	329,167	963,333	99	111
毛織物	千SM	36,145	217,628	16,857	115,830	千SM	827,585	3,110,101	99	108
不織布	千SM	682,615	682,615	361,043	361,043	千SM	137,883	1,404,232	143	110
タイヤコード織物	千SM	115,682	195,807	63,952	116,533	千SM	34,449	84,898	99	97
コーテッド織物	千SM	158,941	294,476	98,048	177,902	千SM	325,653	871,950	88	111
ニット生地		973,297	643,377	137				1,579,954	890,054	117
ニット製衣料		32,658,891	16,418,740	113				6,488,365	3,394,857	116
布帛製衣料		36,590,679	19,249,118	112				12,582,676	6,957,736	121
その他		11,295,787	6,310,208	112				7,477,812	3,948,838	111

(注) 繊維品合計と各品目の累計が合致しないが、EU統計原本どおり。

出所：ユーロスタット

<輸 入 状 況>

一方、輸入については、地域別では、東アジアからの輸入が 65%を占め 18%増、続いてヨーロッパ（シェア 21%）が 17%増、アフリカ（シェア：9%）が 14%増となり、この 3 地域で全輸入の 95%を占めているが、何れの地域からの輸入も 2 桁増と高い伸びを記録している。

国別のベスト 10 は、中国（95 億 2,311 万ドル：46%増）、トルコ（43 億 3,771 万ドル：17%増）、インド（23 億 4,921 万ドル：13%増）、バングラデシュ（15 億 3,788 万ドル：6%増）、チュニジア（10 億 1,885 万ドル：18%増）、モロッコ（8 億 6,985 万ドル：13%増）、パキスタン（8 億 4,717 万ドル：20%増）、スイス（5 億 6,707 万ドル：21%増）、インドネシア（5 億 4,443 万ドル：8%減）、米国（4 億 7,142 万ドル：9%増）、香港（4 億 5,966 万ドル）の順となっている。

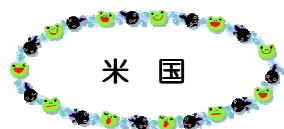
昨年（06 年）の国別の輸入は、中国からの輸入は前年より減速したが、その中国も含め、インド、香港、バングラデシュ、インドネシア、パキスタン等の東アジアからの輸入が増大し、一方 EU 近隣国からの輸入がトルコを除き軒並み停滞したことが特徴であるが、本年に入って変化している点は、中国は依然大幅な伸びとなっており、インド、トルコも 2 桁の伸びを維持しているが、その他の東アジア諸国では明暗を分け、バングラデシュ、パキスタン、ベトナム、スリランカは好調を持続、一方、香港、インドネシア、タイ、カンボジアは減少推移となっていることである。また、チュニジア、モロッコ、スイス等の近隣国からの輸入が回復しているのも目立っている。

品目別輸入では、衣料品を始め素材類（綿、糸、織物）の輸入も揃って増勢で推移している。

全体の輸入の 70%と圧倒的なシェアを占める衣料品の輸入は、ニット衣料品が 13%増の 164 億 1,874 万ドル、布帛製衣料品も 12%増の 192 億 4,912 万ドルと何れも 2 桁の伸びを記録している。

綿関係の輸入は、天然繊維また、ポリエステル綿を中心とする合繊綿、スフ綿の輸入が増加し、数量で 6%増の 81 万 3,223 トン、金額で 14%増の 19 億 5,541 万ドルとなった。また、糸関係の輸入は太宗の合繊長繊維糸、綿糸等が増加し、数量で 10%増の 71 万 2,320 トン、金額で 17%増の 24 億 6,243 万ドルと、数量、金額共に揃って 2 桁の増加となった。

織物関係の輸入も、太宗の綿織物、合繊長繊維織物、合繊短繊維織物等総じて増勢推移で、数量で 7%増の 28 億 581 万ドル、金額で 9%増の 31 億 8,874 万ドルとなっている。



◎ 2007 年 8 月の繊維品輸入

～中国とベトナムの伸びが依然好調～

米国商務省が発表した 2007 年 8 月の米繊維品輸入は、49 億 9,900 万 SME（平方メートル換算）で前年同月比 0.6%の微増（1～6 月前年同期比：2.4%増）となった。6 月に落ち込んだアパレルが 7 月に引き続いて前年同月比 2.5%増と回復。一方、ノン・アパレルは、糸、織物の不振に加えて、その他（アパレル以外の繊維製品）の伸びが大きく鈍化し全体として前年同月比 1.0%減とマイナスとなった。主要国では中国、ベトナム、バングラデシュの好調な伸びが続いており、加えてホンジュラス、サルバドル、タイが回復、インドが 3 ヶ月ぶりに前年同月を上回った。

米国の繊維品輸入推移(商品別)

単位：100万SME、%

	ノン・アパレル		アパレル		合計	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
2000年	16,829	16.0	16,035	13.7	32,864	14.9
2001年	16,708	▲0.7	16,103	0.4	32,812	▲0.2
2002年	21,033	25.9	17,256	7.2	38,288	16.7
2003年	23,363	11.1	18,864	9.3	42,227	10.3
2004年	26,985	15.5	19,951	5.8	46,936	11.2
2005年	28,827	6.8	22,010	10.3	50,836	8.3
2006年	29,607	2.7	22,539	2.4	52,146	2.6
2007年	20,046	▲0.3	15,445	6.1	35,490	2.4
1月	2,373	▲5.2	1,919	13.0	4,292	2.2
2月	2,250	4.5	1,723	8.6	3,973	6.2
3月	2,341	▲0.9	1,797	6.5	4,138	2.2
4月	2,411	▲4.2	1,614	8.1	4,025	0.4
5月	2,711	0.2	1,833	9.9	4,543	3.9
6月	2,699	0.6	2,029	▲2.0	4,729	▲0.5
7月	2,634	4.5	2,157	6.2	4,791	5.3
8月	2,627	▲1.0	2,373	2.5	4,999	0.6

注：前年比▲は減少。 出所：米国商務省（DOC）8月の輸入。

【8月の主要地域別輸入状況】

- ビッグ4からの輸入は依然として中国だけが好調といった図式は変わらず、全体としては前年同月比13.5%増と好調に推移した。韓国同10.9%減、台湾同7.8%減、香港同32.3%減と軒並み不振が続いており、特に香港の減少が著しい。
- アパレルが中心のアセアンからの輸入は、ベトナムの好調が続いているのに加え、タイから前年同月比1.1%増と前月に引き続いて前年同月を上回った。フィリピン同21.0%減、インドネシア同2.7%減、カンボジア同3.3%減と不振が続いている。アセアンからの輸入全体としては、同0.5%と微増に止まった。
- NAFTA パートナーからの輸入は依然として低迷が続いている。アパレル中心のメキシコが前年同月比13.3%減、糸と織物主体のカナダは同32.3%の激減と、両国合わせて同21.1%の大幅な減少が続いている。
- CBI からの輸入は、ホンジュラス前年同月比10.4%増、サルバドル同2.9%増と回復基調に乗ったが、その他の国からの輸入が軒並み不振となり、全体で同3.5%減と4ヶ月連続の減少となった。
- EU（15カ国）からの輸入は、前月と同様、前年同月比28.6%増と大幅な伸びを見たイタリアからの輸入がその他主要国の不振を補って、全体として同6.2%増となった。
- 上記の主要地域に含まれない「その他地域」からの輸入では、3ヶ月ぶりにインドが前前年同月比5.3%増、不振の続くパキスタンが同3.1%減、バングラデシュは同12.3%増と好調を維持、トルコ同7.6%減の推移となった。

米国の繊維品輸入推移(主要地域・国別)

単位：100万SME、%

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年 (1-8)	前年 同期比
全世界	42,227	46,936	50,836	52,149	35,490	2.4
NAFTA	7,238	7,373	6,892	5,864	3,456	▲15.2
メキシコ	3,926	4,101	3,883	3,425	2,095	▲11.5
カナダ	3,312	3,272	3,009	2,439	1,361	▲20.4
CBI	4,046	4,168	4,169	3,796	2,480	▲0.9
ホンジュラス	1,165	1,209	1,262	1,144	805	5.3
エルサルバドル	895	895	897	744	539	12.3
ドミニカ共和国	758	772	725	588	276	▲31.0
ビッグ4	12,633	16,128	20,595	22,537	16,338	13.5
中国	8,288	11,662	16,763	18,614	13,957	18.8
韓国	2,097	2,301	2,027	2,139	1,347	▲6.3
台湾	1,356	1,302	1,083	1,172	766	▲2.8
香港	892	862	721	613	269	▲35.3
アセアン	4,980	5,140	5,145	5,754	3,889	0.5
タイ	1,098	1,114	1,052	1,019	629	▲7.6
インドネシア	1,151	1,275	1,354	1,599	1,103	2.1
フィリピン	794	711	643	694	384	▲18.8
ベトナム	827	905	950	1,148	959	23.3
カンボジア	561	673	740	870	574	2.0
EU(15カ国)	2,059	2,063	1,912	1,698	1,165	▲3.4
イタリア	533	462	385	325	240	5.1
ドイツ	484	479	453	383	222	▲19.1
その他主要国						
パキスタン	2,690	2,970	3,290	3,567	2,175	▲12.6
インド	1,666	1,915	2,334	2,654	1,880	4.0
バングラデシュ	1,110	1,109	1,314	1,495	1,081	9.0
トルコ	1,026	982	844	725	437	▲11.1

注：前年比▲は減少。 出所：米国商務省（DOC）8月の輸入。

組合関係の会議と催事

[2007年9月]

3日(月)～4日(火)

輸入 (大阪) 「アパレル生産の実際知識」研修会(関西地区)がペガサスミシン製造(株)で開催され、文化女子大学生産工学研究室・正田教授を講師にアパレル生産のプロセス、縫製機器の知識、縫製不良の実際、縫製仕様、工場の見方、海外生産のための知識等について研修が行われ、組合員3日/19名、4日/19名が参加された。

4日(火)

輸入 (大阪) 日本黄麻製品輸入協議会「第123回運営委員会」(林委員長)が開催され、今後の事業計画について検討が行われ、併せて情報交換を行った。

6日(木)

輸入 (東京) 繊維会館会議室に於いて日新運輸(株)・河田取締役海外営業本部長を講師に迎えて、「日中物流セミナー」を開催、①衣料品貿易の現状②衣料品物流を取り巻く環境の変化③日中間物流の戦略的ポイント④物流戦略を支える各種サービス⑤物流の将来像について講演があり、組合員60名が聴講された。

輸出 (大阪) 平成19年度「第1回組合運営に関するタスクフォース」開催

7日(金)

輸入 (大阪) 「第17回絹委員会」(宮崎委員長)が開催され①輸入組合繊維貿易情報センター・神山主任研究員より「インドの繊維産業の現状とシルク産業について」の講演の後、②訪インド市場調査③絹需要振興事業について意見交換が行われた。

10日(月)

輸入 (大阪) 「四川省宜賓市経済貿易考察訪日ミッション」(団長/尹徳宏宜賓市主席)が来所され、絹委員会・吉岡副委員長(北西産業・代表取締役社長)と事務局で懇談した。

13日(木)

輸出入 (上海) 輸出入組合「上海分会」会員企業を対象に「中国人職員向け対日輸出繊維製品品質管理セミナー」を開催、講師の上海科懇服装検査修整有限公司・陸国華品質管理部次長・銭舜検査部課長より①日本の法規則②日本の小売店が要求する品質性能③機能性製品の評価方法④衣料品の縫製検査のチェックポイント⑤質疑応答の講演が行われ、中国人職員71名が聴講された。

14日(金)

輸出入 (上海) 「第5回上海分会」(与田会長)を開催、①日新運輸・河田取締役海外営業本部長を講師に迎えて「衣料品における日中間の最新物流事情と今後の方向性について」講演の後②中国政府の加工貿易制度の変更③各社が抱える問題点について意見交換が行われた。

21日(金)

輸入 (大阪) 「第86回中国アジア製品委員会」(大塚委員長)が開催され、①中国政府による加工貿易制度の変更②「中国東北部調査ミッション」派遣③情報交換④次回委員会の開催について討議が行われた。

25日(火)

輸出 (大阪) 近畿財務局によるヒアリング

26日(水)

輸入 (東京) 繊維業界(EPA)勉強会が開催された。

26日(水)～27日(木)

輸入 (バンコク・チェンマイ) 26日バンコク、27日チェンマイに於いて輸入組合・繊維貿易情報センター・古宮主任研究員が講師となり、タイ国務省輸出振興局主催「Fashion Trend Seminar 2007, Japanese Market」セミナーで講演を行った。

27日(木)

輸入 (大阪) JETRO主催で「パキスタン訪日繊維輸出業者との懇談会」がJETRO大阪本部会議室で開催され、伊藤忠商事(株)繊維原料課・谷岡氏並びに事務局が懇談した。

(東京) アパレル委員会・長田副委員長と事務局はクロアチア大使館を往訪し、アパレル委員会ミッションの報告を行った。



◎ 繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と「保険期間延長手続き」について

別表に掲げる保険申込書の「保険責任期間」が、平成19年11月末日に終了しますので、延長を必要とするものがありましたら、必要書類を添付の上、組合に申請してください。保険責任期間が「6ヵ月」延長されます。

記

- * 平成19年 5月に新規提出された決済条件が、「前受け」のもの
- * 平成19年11月に新規提出された決済条件が、「前受け」以外のもの

(注) 当初の保険責任期間は「前受け」6ヵ月、「前受け以外」12ヵ月となっております。

1. 提出期限：平成19年11月20日（火）
2. 提出書類：① 貿易一般保険包括保険(繊維品)
保険期間延長依頼書.....2通
(用紙は事務局で準備しています。)
② 延長を必要とする包括保険申込書のコピー.....1通
3. 提出先：総務部 (☎06-6201-1832)

なお、延長手続きのFAXによる申込みも可能です。(FAX:06-6201-1814)
保険期間終了の保険申込書番号は以下の通りです。

前受けに係る2007年5月度受付保険申込書番号

記号 \ 受付局区分	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 7	102423～ 103038	100995～ 101182	100060～ 100075
	503793～ 504197		

前受け以外に係る2006年11月度受付保険申込書番号

受付局区分 記号	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 6	106261～ 106864	103002～ 103207	100228～ 100272
	511212～ 512219		

◎ 「イラン」向け引受方針変更について

日本貿易保険から、“「イラン」(国コード：133)の核開発を巡る諸情勢に鑑み適切なリスク管理を行う観点から Melli 銀行又は同行の支店、子会社が発行する円建て以外の L/C により決済される輸出契約等につきましては、日本貿易保険が内諾書を発行した場合を除き保険契約を締結しないこと。及び、本取扱にかかる基準を下記のとおり変更し、実施日より適用いたします。”旨連絡がありましたのでご通知します。

記

新:※ Saderat 銀行若しくは同行の支店若しくは子会社(イラン国外に所在するものを含む。)が発行した L/C、Sepah 銀行若しくは同行の支店若しくは子会社(イラン国外に所在するものを含む。)が発行した L/C 又は Melli 銀行若しくは同行の支店若しくは子会社(イラン国外に所在するものを含む。)が発行した円建て以外の L/C により決済がされる輸出契約等。

旧:※ Saderat 銀行若しくは同行の支店若しくは子会社(イラン国外に所在するものを含む。)が発行した L/C 又は Sepah 銀行若しくは同行の支店若しくは子会社(イラン国外に所在するものを含む。)が発行した L/C により決済がされる輸出契約等。

1. ILC 取得条件 : 有り(据置き)
2. 引受限度額 : 10億円(据置き)
3. ユーザンス : 6月(据置き)

上記に該当する取引については保険契約の申込みを要しない。仮に申込みがなされた場合においてもてん補する責めに任じない。

4. 国別倍率 : 6.0倍(据置き)

* 国倍率(地域差料率)とは、非常危険てん補に係る保険料計算に適用される基本料率に対して掛けられる倍率です。

なお、ユーザンスが6ヶ月を超えるものは、ベルン・ユニオンのルールに基づき、従来どおり引受けられません。

5. 実施日 : 平成19年10月22日

お知らせ

－ 2007 年 11 月の輸入通関手続相談窓口開設日 －

2007 年 11 月の輸入通関手続相談窓口は下記要領により開設します。
申告手続、品目分類、関税評価、暫 8 手続等々通関業務諸問題について
ご相談の向きはご連絡下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 開催日 2007 年 11 月 7 日（水）及び 11 月 21 日（水）
2. 場所 日本繊維輸入組合 東京本部
3. 時間 午後 1 時より午後 5 時まで
4. アドバイザー 片山 喬次

（元東京税関関税評価部門特別価格審査官）

5. 連絡先

Tel 番号 03（3270）0791

Fax 番号 03（3243）1088

E - Mail 0023@j t i a . o r . j p（片山）

なお、事前の面談申込みや相談窓口開設日以外のお問合わせ、
ご質問につきましては、事務局がお取次ぎ致しますので、本件
事務局担当：国信までご連絡下さい。

以 上